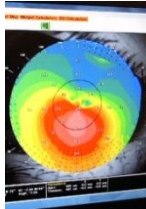




# フジタガンカニュース

Vol.28 2013.1.21



## 「緑内障」の通称名は「グラ」なのヨ③

今月のフジタガンカニュースは前回に引き続き緑内障関連、日本眼科学会のホームページ上の解説の引用の続きです。  
Vol.26-のバックナンバーもご参照下さい<(\_ \_)>。

\*\*\*\*\*

### (2) 原発閉塞隅角緑内障

原発閉塞隅角緑内障とは、「他の病気のためではなく（原発）」、「隅角が狭くなり（狭隅角）（図3）、ついには閉じてしまう（閉塞してしまう）（図4）ために」、房水の流出が障害され眼圧が上昇する緑内障であることを意味します。原発閉塞隅角緑内障では、急速に隅角が閉じてしまうことで、劇的で著しい眼圧上昇を来すことがあり、これを一般に急性緑内障発作と呼びます。上記のように、急性発作では、眼痛、頭痛、吐き気などの激しい自覚症状が出現します。

図3.狭隅角

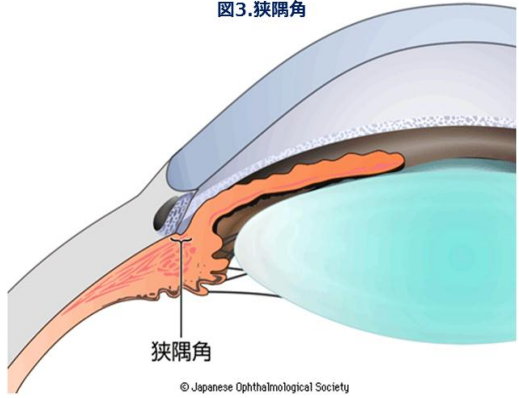
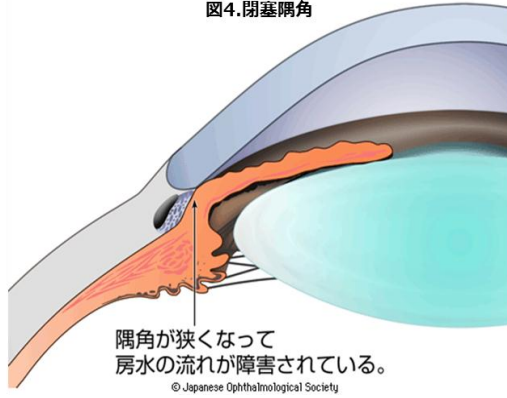


図4.閉塞隅角



### (3) 続発緑内障

あらかじめ眼や全身に何らかの病気があり、それが原因で眼圧が上昇するために起こる緑内障です。開放隅角の場合もあれば、閉塞隅角の場合もあります。原因はさまざまなので、正確にその病気や状態を把握して、原因からきちんと治療していくことが重要です。

### (4) 発達緑内障

生まれつき隅角に異常があるタイプの緑内障です。生まれた直後から眼圧が高い場合、眼球そのものが大きくなることもあり、昔から、俗に「牛眼」と呼ばれています。乳幼児から若年齢に緑内障と診断されることが多いのですが、特に乳幼児の緑内障は急速に悪化して、眼球拡大が進行すると、たとえ眼圧がコントロールされたとしても視機能が著しく障害されてしまう結果になりやすいので、多くの場合、早期に手術療法を行います。

### ■ 緑内障の検査

緑内障を診断したり治療経過の良し悪しを判断するには、定期的に多くの検査を行う必要があります。緑内障の検査

は基本的には定期的に生涯にわたって続けていく必要があります。

### (1) 眼圧検査

眼圧を測定する器械はいくつかの種類があります。患者さんの目に器械を直接触らせて測定する器械（図5）や、患者さんの目に圧縮した空気を吹き込んで測る機械（図6）などがあります。それぞれの器械には長所短所があり、どちらが優れているというわけではありません。

図5. ゴールドマン圧平眼圧計

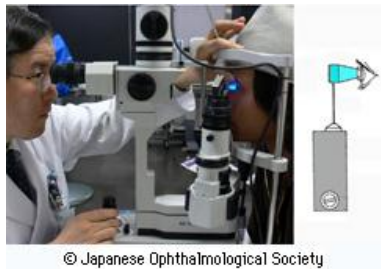


図6. 空気眼圧計



\*\*\*\*\*



図A: アイケア手持眼圧計(眼圧測定)



図B: トノベンXL(眼圧測定)

こうした代表的な眼圧検査法の他にも、当院では図Aや図Bのような特殊な検査法も用いています。上にも記載がありますが「どの検査方法が一番優れている。」というよりは「眼圧を正確に測定する

のは難しいため、様々な方法が考案されている。」というのが真実です。(病院と自宅とでの血圧の測定値が異なるようなものです)眼科の先生によっては「空気眼圧計は全くダメで、ゴールドマンが全面的に正解！」という意見の先生もあれば「空気眼圧計のみで十分！」という意見の先生もあつちります。僕はどちらも「一長一短」と思っているので、両方の測定を行う事もありますし、意外に患者さんの緊張が少なく測定できるので図Aの「アイケア」の測定が体質に合う方もあると考えています。来月も緑内障特集が続きます、お楽しみに~(^\_^)/。

## 今月のお知らせ

2月15日(金)午後と16日(土)は、院長が「角膜カンファランス2013」に出席するため「臨時休診」となります。ご迷惑をお掛け致しますが宜しくお願い申し上げます(^\_^)ゞ。



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC

# 藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

# F-Vision

☎ 042 (645) 0575

☎ 042 (642) 2911